

会報

第 35 号 (2016/8/5)

広島県福山市木之庄町 4-3-14

Tel&Fax:084-917-5937

Mail:info@crcc-fukuyama.org



Community Renaissance
Research Center

今後の予定

8月29日(月) 13時30分
柏もちをつくらう会

・講師：仁伍地域で柏もち作りが得意な高
齢者

・場所：地域の絆 コミュニティホーム仁
伍 3階

・参加費：材料代 (未定)

仁伍町内会の子ども会と地域の絆の高齢者
が一緒に柏もちを作ろうという企画です。
もし参加したいという方がいらっしゃいま
したら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

申込は、8月26日までにお願いします。

9月5日(月)
2016年度第一回評価委員会開催

今年度第一回耐震診断等評価委員会を9月
5日(月)に開催します。今年度も福山の安全な
まちづくりに少しでも貢献していけるよう頑
張っていききたいと思っております。

2016年度総会を開催

6月5日午後2時より、2016年度通常総
会を開催し、2015年度の事業報告、活動計
算報告、監査報告及び2016度の事業計画と
活動予算案が承認されました。事業計画に関し
ては、定款第5条通りに整理して今後の活動内
容を見直しました。

また、昨年度末に完成し、予想以上の反響が
あった防災ブックレット『油断しないで福山の
地震』福山市民が知っておきたい地震知識と
備え』の書店等の販売状況の報告、また企画
段階ではありましたがブックレット連座講座
の企画書の発表をしました。また、当NPO法
人のこれからの課題と展開について 1. ブッ
クレットの増刷について 2. ブックレット第
2弾について 3. 会員拡充について 4. 被
爆アオギリの紙芝居について会員の皆様から
意見を頂きました。

総会後、福山建築物耐震診断等評価委員会委
員長 都祭弘幸先生より『油断しないで福山の
地震』出版についての講演をして頂きました。

こちらが好評頂いてい
るブックレットです!



【講演】『油断しないで 福山の地震』

出版について

福山建築物耐震診断等評価委員会委員長
都祭 弘幸

1. 出版までのいきさつと南前委員長の功績

(1) 南先生の功績

私(都祭)が福山にきたのは3年前である。
南先生は福山大学で研究・教育で大きな仕事を
されてきましたが、昨年4月に亡くなられまし
た。

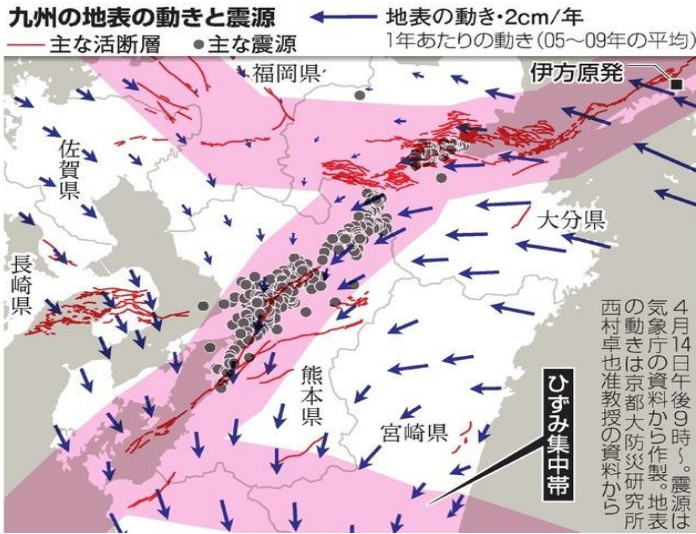
まず、当NPOに「福山建築物耐震診断等評価
委員会(以下評価委員会とする)」を設立する
ように尽力され、福山の小・中学校の耐震診断
や改修補強の評価などを行い福山の耐震改修
率の向上に寄与されました。

福山大学における研究・教育活動では鉄筋コ
ンクリート構造および鉄骨鉄筋コンクリート
構造などの研究をおこなわれ、さらには古い鉄
骨校舎の改修費軽減方法の開発など耐震性向
上をはかる工法の開発などもおこなわれてい
ます。

そうした長年の研究活動に対して、2012年3
月には「財団法人 日本建築防災協会理事長賞」
を受賞されています。

(2) ブックレット作成まで

ブックレット作成の一つは、亡くなられた南
先生に当NPOとしてもなんらかの感謝の気持
ちを示すものを作りたい、と言うことがありま



した。そこで、① 2014年6月に講演していたこと、② 2014年9月に開催した「建築物耐震補強工法技術説明会」において藤井評価委員の講演をベースにした原案を事務局が作成し、評価委員会で議論して作成しました。

ブックレットのできあがりですが、たまたま熊本地震の直後と重なったためにマスコミの注目を集めました。

2. 熊本地震の特徴

地震にはプレート境界型地震と活断層型地震があります。今回の熊本地震は人が住む直下で起きた活断層型地震のため被害が大きくなっています。しかも、今回の地震の振動は短い周期であり、木造建築物の固有周期と重なったことも被害を大きくした要因です。

3. 見直された想定地震

2013年に広島県と福山市は想定される地震の見直しを行いました。プレート間地震の南海トラフ巨大地震と地殻内地震の長者原―芳井断層が新たに加わりました。

また、福山には長者原―芳井断層の他に無視できない二つの断層の存在が推定されています。一つは北本庄付近から神辺町守竹付近までの東西に約10kmの福山北断層。もう一つは水呑大橋南付近から鞆町平地区当たりまでの南北約10kmの鞆断層です。いずれも、起きる地震タイプは地殻内地震で、活動間隔は約一万年程度と言われています。

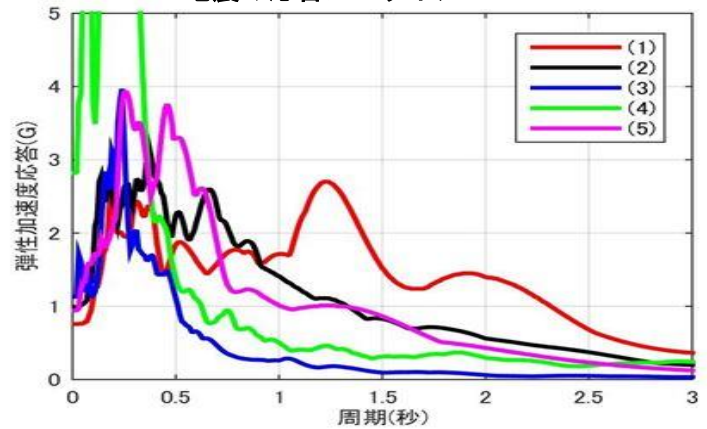
4. 地震により起きること

地震により起きることとしては、まず揺れがあります。地震によって下図のように揺れのパターンは異なっています。地震の周期と建物の固有周期が重なると被害も大きくなります。

ついで津波があります。南海トラフ巨大地震では想定されている最高津波水位は3.3mです。福山駅前の2号線あたりは海拔2.5mですから、0.5〜1.0mの深さまで浸水することになります。

現在の福山駅から南側一帯は江戸時代の干拓により出来た平野です。ですから12〜20mの深さにならないと締まった地盤に行きあたりません。そういう場所は地震波が増幅(揺れが大きくなる)や液状化の恐れがあるということになります。

地震の応答スペクトル



- (1) 1995年阪神・淡路大震災 (JR鷹取)
- (2) 2004年新潟県中越地震 (小千谷)
- (3) 2003年宮城県沖地震 (大船渡)
- (4) 2011年東日本大震災 (栗原)
- (5) 2016年熊本地震 (益城)

5. 福山市における耐震化への取り組み

2013年4月1日現在で、広島県の小・中学校の耐震化率は68.6%で全国最下位、福山市は50.4%でした。2016年4月1日現在では75.1%まで改善されています



鯉まつり



5月8日(日) 10時から仁伍広場にて地域の絆主催の鯉まつりが開催されました。昨年に続いて青空が広がって日差しが暑いぐらいのおまつり日和となりました。

昨年の仁伍音楽祭に続いて地域の絆の利用者さんによる『仁伍ニコニコ合唱団』指導 村山ひろみ(元福山市立大学教授)がトップバッターで20名あまりの方がステージに上がり、歌声を披露しました。今回はマイクの本数を増やしたりピアノの位置を調整したりと利用者さんの声が来場者に届くように工夫をしましたが、まだ少し声は聞こえにくかったようでした。

しかし、前回よりは明らかに声は大きくはなっていましたし、利用者さんも楽しんでいらっしやったのではないかと感じました。これからも練習を続けて、発表をしていこうという思いを感じさせられました。

ルネッサンスからはスタッフ6名が参加し、コーラスへの参加とリサイクルバザーと輪投げ、釣りぼりを出店しました。今回は会員の方が持って来てくれた手作り人形やその他良品により、リサイクルバザーの売り上げは上がりましたが、子どもの数が少なかったのか、輪投げ、釣りぼりの売り上げが少なくなりました。今回地域の絆さんが作られた無料のキッズコ

ーナーの影響も大きかったのではないかと思います。また、地域の絆に来ていた慶應大学の学生さんがキッズコーナーなどで子どもと一緒に遊んで楽しそうに遊んでいたのが印象的でした。



仁伍ニコニコ合唱団！
暑い中、みんな頑張って
歌われていました♪♪



原田さんから受け継いで、ニュースを担当させていただきますので、よろしく願いします。

編集後記



事務所は2人になってバタバタしていたところに、防災ブックレットが予想以上の反響をいただき、4月末からの1ヶ月半近くは目の回るような忙しさで、嬉しい悲鳴をあげておりました。

私がここに来てからの約4年間の中でこんなに事務所の電話が鳴ったのは初めてでしたので、驚きと同時にこれだけ多くの方に関心を持って頂いたことに感謝し、気持ちが高揚しました。そして、小さなNPO法人ではありますが、やはり同じことをするならば、より多くの人に共感していただき、より多くの人と関わっていききたいという思いを以前より強く感じるようになりました。

よってこれからは今までよりもっと力を入れて、より多くの方に喜んで頂けるもの、共感して頂けるもの、そして地域の皆様と少しでもつながっていきけるものを目指して頑張っていきたいと考えています。(羽)

